

トビタテで手に入れた、かけがえのない三週間

2年4組 NY

皆さんは「高校生の留学」と聞くと、何を思いますか？「異文化交流楽しそう！」「一生に一度の経験をしたみたい！」という期待がある一方で、「知らない土地で一人なのは、、、」「治安はどうだろう？」という心配も大きいと思います。実際、私が留学を計画していた時、両親だけでなく友達からも心配されました。しかし、少しでも異文化に興味があるのなら留学して損はないと思います。将来の目標が明確であるのならなおさらです。「世界に羽ばたきたい！」と考えている方々にとって、私の留学体験記が少しでも行動に移すことの後押しになればと思い、投稿させていただきます。

《留学の動機》

私は中学生の頃から、小児がん専門医として働くかたわら、日本全国に小児ホスピスの設置を呼び掛けたいという夢をもっています。そして、その夢を実現させるためには、勉強を沢山して医学部に入ることが大切だと思っていました。ですが高校一年生の時、教室でトビタテ留学 Japan のポスターを見つけたことで留学に対して興味が沸き、勉強することだけでなく、異文化交流を通して視野を広げ、将来の夢をより明確にすることも大切ではないのかと思うようになりました。そこで、イギリスへ行き、以前から関心を持っていた“世界初の独立した小児ホスピス”を訪問し、小児ホスピスについて学ぶことを計画し始めました。幸い、私の父や叔母は留学経験があったので後押しをしてもらうことができ、留学に対する意思を固めることができました。

※小児ホスピスとは

小児がんや難病などで余命を宣告された子どもが、最期まで同世代の健康な子どもと同じような生活が送れるようにサポートをする施設のこと。また、その家族に対して闘病中だけでなく、死後もカウンセリングなどを行って、精神的にサポートをする。運営費のほとんどを民間からの寄付で賄っており、イギリスには世界で初めて設置された“Helen & Douglas House”がある。日本には現在、横浜と大阪の2か所しか設置されていない。（イギリスは約47か所）

《トビタテ留学 Japan について》

トビタテ留学 Japan とは、文部科学省がグローバル人材を育成するために行っている留学プログラムのことです。高校生と大学生を対象に行っていて、民間企業からの支援により、日本から海外へ留学する学生に対して返済不要の奨学金を配布しています。ですが、このプログラムに参加するには審査を受ける必要があります。私の場合は1次審査(書類審査)で約7000字の留学計画書を提出し、2次審査(面接審査)では、10分間のプレゼンテーションを行いました。とても大変な経験でしたが、そのぶん合格してからは事前研修や事後研修などの手厚いサポートを受けることが出来るので、おすすめです。また、意識の高い同世代の人達と交流することが出来るので、凄く刺激を受けること間違いなしです！ ホームページはこちら (<https://tobitate-mext.jasso.go.jp/>)

《事前研修について》

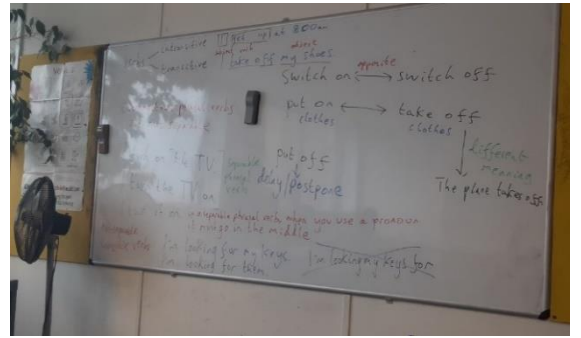
事前研修では、日本全国のトビタテ生が集まって、下記のことを行います。

- ・各々の留学計画についてを共有する(ガラパゴスで環境保護について学ぶ人や、アイルランドで“幸福”について調査する人などがいました 😊)
- ・役員の方から“安全”について学ぶ(初めて海外に渡航する私にとって、とても役に立ちました)
- ・先輩トビタテ生からアドバイスをもらう(将来の夢についても親身に相談にのってもらえました)

《留学中のあれこれ》

～語学学校～

私はオックスフォードの中心部にある“Oxford School Of English”という語学学校に、1週間に15時間授業のコースで通っていました。もちろんそこでの授業は、問題提起・ディスカッションから解説まで全て英語なので、慣れるまではとても大変でした。ですが、国際色が豊かで、年齢層も幅広い学校(16歳～60代まで在籍)だったので、先生だけでなく沢山の方に助けていただき、すぐに慣れて授業中に自発的に発言できるようになりました！



～放課後～

私のクラスは、毎日お昼過ぎに終了していたので、放課後はよく現地でできた友達とランチに行っていました！イギリスは多くの移民を受け入れているので、イギリスに居ながら、世界中の料理を食べることができます。「今日はベトナム料理を食べたあと、あそこのジェラート屋さんに行かない？」と、毎回友達と作戦会議をしていました(笑)。ご飯を食べている時も、自国の文化や、家族を写真を交えて紹介しあったりして、異文化を体感することが出来ました。



ビーフシチューとスコーンを頼みました (£19/約3200円)



また、私の通っていた語学学校は、様々な放課後アクティビティがあったので、同じクラスでない人とも親しくなることができ、加えて、日本ではあまり一般的ではない放課後の過ごし方を知ることが出来たので、とてもいい経験だったと感じています。昼食後に近くのショッピングモールで遊んだり、、(なんとモールの中にメリーゴーランドが🤪)放課後アクティビティでパンティング(川でボートを漕いで遊ぶ)をしたり、、、。欧米の友達に聞くと、放課後に川辺でくつろいだり、公園でのんびりすることが多いそうです。

～休日～

学校の無い日は、持ってきた課題をしたり、友達とハリーポッターの聖地巡礼をしたり、ロンドンに行ったり、ホストファミリーと出かけたりしました。ホストシスターとホストブラザーが7歳と6歳だったので、比較的英文などが聞き取りやすく、遊びながら英会話を学ぶことが出来たので良かったです！



～食事～

「イギリスの食事は美味しくない。」と思われがちですが、全くそんなことはありませんでした！基本的にオープン調理で、各家庭に1つずつ冷蔵庫並みの大きさのオープンがあります😋主食がお米ではなくジャガイモでしたが、思っているよりも腹持ちがよくて、すぐに慣れました。



イギリスと言えば、フィッシュ&チップス



朝ごはんは大体グラノーラか食パンです

～探究活動～



Helen&Douglas House 前で

さて、「トビタテ留学 Japan」では、奨学金給付の条件として、単なる語学研修だけでなく、自分なりの「探究テーマ」に沿った活動に現地で取り組むことが求められています。私は「小児ホスピス先進国での実態調査」に取り組みました。毎日の生活の中で、イギリスの募金活動の方法を見つけたり(バス停の広告ディスプレイでの呼びかけや、レジ横の募金箱など)、休日にビックベンの近くで、小児ホスピスに対する関心度を調べるための路上インタビューをしたりしました。また、今回の留学の最大の目的であった“Helen&Douglas House の訪問”も行いました！やはり、インターネットや本で調べただけでは分からない施設の雰囲気や、実際に働いている人たちの価値観などを学べたことは、将来の夢をより明確にするうえでとても大切な経験だったと思います。また、路上インタビューでは、イッテQの出川イングリッシュ

を見ていた私にとって想像もつかないほどのあしらわれ方や差別などを受けました。ですがその反面、助けてくれた人がいることも事実です。この経験を社会人になる前にできたことは本当に幸せなことだと思います。

《最後に、、、》

留学体験記はいかがでしたでしょうか。字数や写真枚数の制限によって、十分に書ききることができませんでしたが、少しでも留学に興味を持っていただければ幸いです。これを書いている間「留学してなかったら知ることができていなかったなあ。」「出会えてよかったなあ。」と何度も思いました。本当に私の人生にとって大切な経験ができたと思います。これは両親や先生方を始めとして、多くの方が支えてくださったおかげだと思っています。感謝の気持ちを忘れずに、これからの事後活動も精一杯頑張っていこうと思います。もし「もっと知りたい!」と思っていたのなら、私の留学体験を日記形式で投稿している Instagram のアカウントを添付しますので、そちらも是非ご覧ください。

(DM ではトビタテのことにに関する質問も受け付けてます!)

Instagram アカウント kizihatobu (リンク) <https://www.instagram.com/kizihatobu/>

《留学データ》

- ・滞在先 イギリス/オックスフォード(8月6日～8月27日)
- ・滞在方法 ホームステイ
- ・留学テーマ 語学留学/Oxford School Of English
探究活動/Helen & Douglas House
- ・総費用 約 110 万円(航空運賃、保険、手配料含む)
- ・使用した奨学金 トビタテ留学 Japan(41 万円/返済不要)
- ・使用したエージェント ウィンテック留学センター/General English コース